

令和5年度 特別の教育課程の実施状況等について

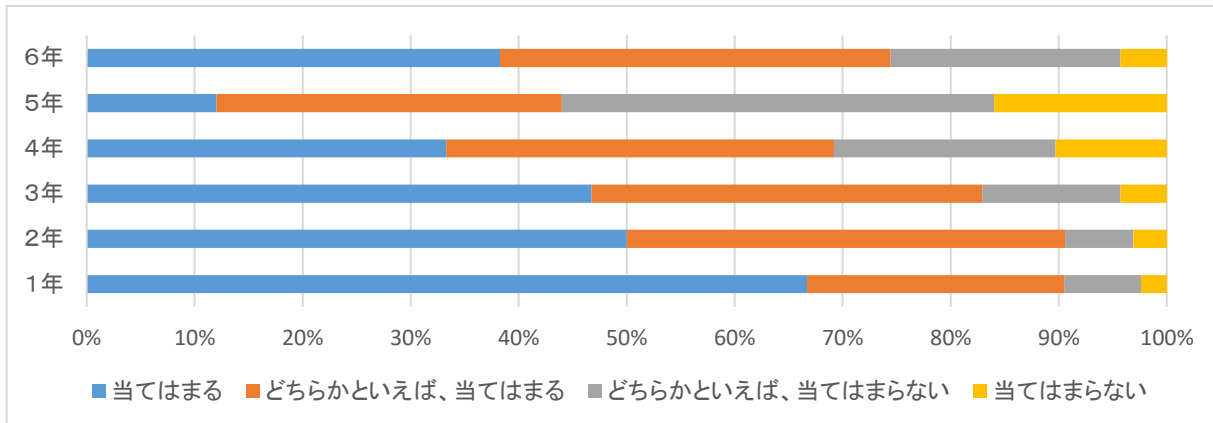
1 概要

益子町では、町内の全小学校にて教育課程特例校として、小学校第1・2学年に「外国語活動」を設置する特別の教育課程を編成しています。低学年では、体を動かす活動を中心に、英語を楽しく慣れ親しむ活動ができるよう単元を構成し、思いや考えを伝えるコミュニケーション活動や英語による読み聞かせ等の活動を取り入れています。

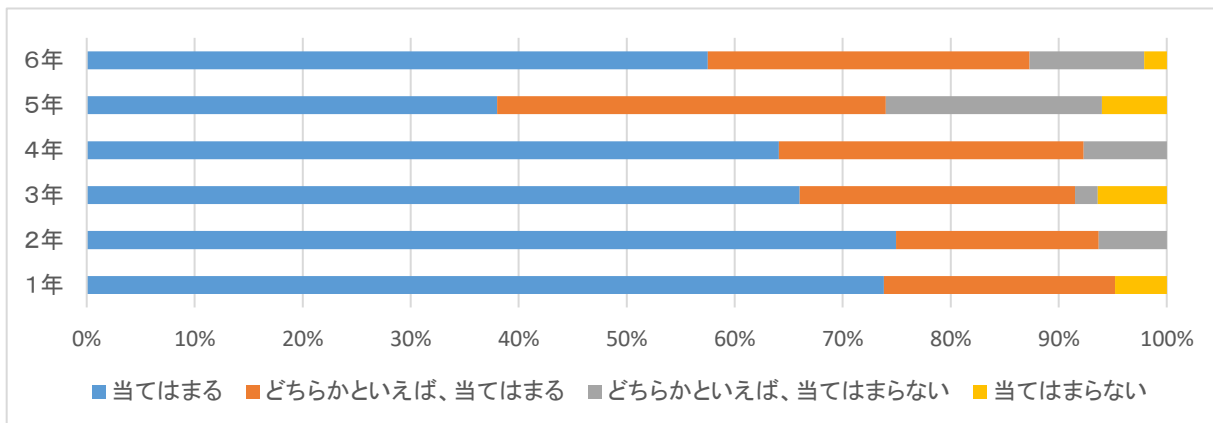
2 七井小学校児童アンケート結果(令和6年2月実施)

(1) 児童の意欲について

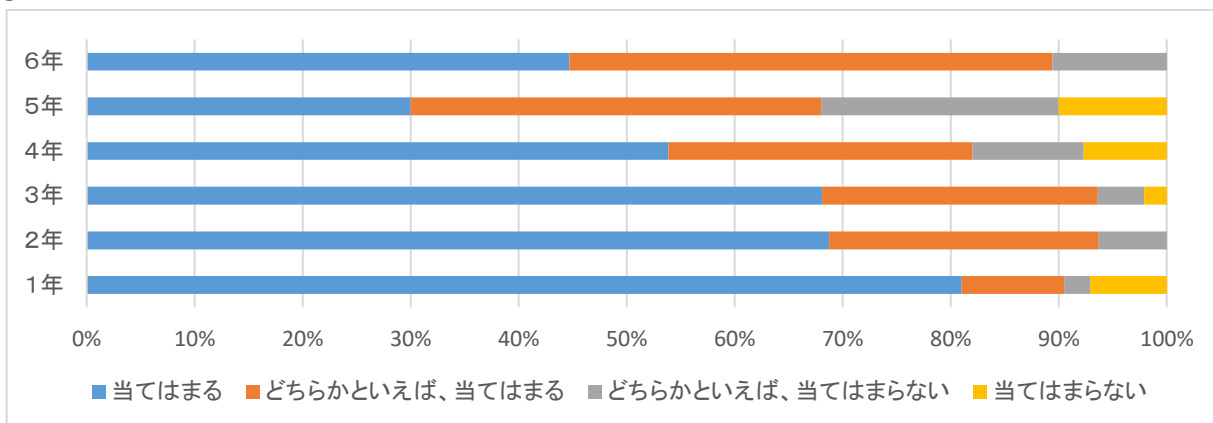
① 外国語活動・外国語科の授業は好きである



② 外国語活動・外国語科の授業に進んで参加している

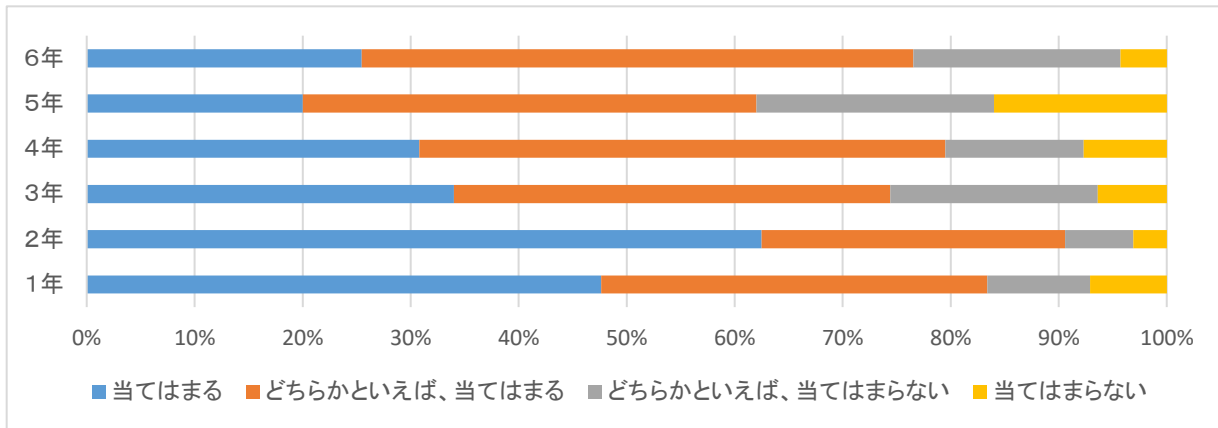


③ 外国語活動・外国語科の授業で、先生や友達とのコミュニケーションは楽しい

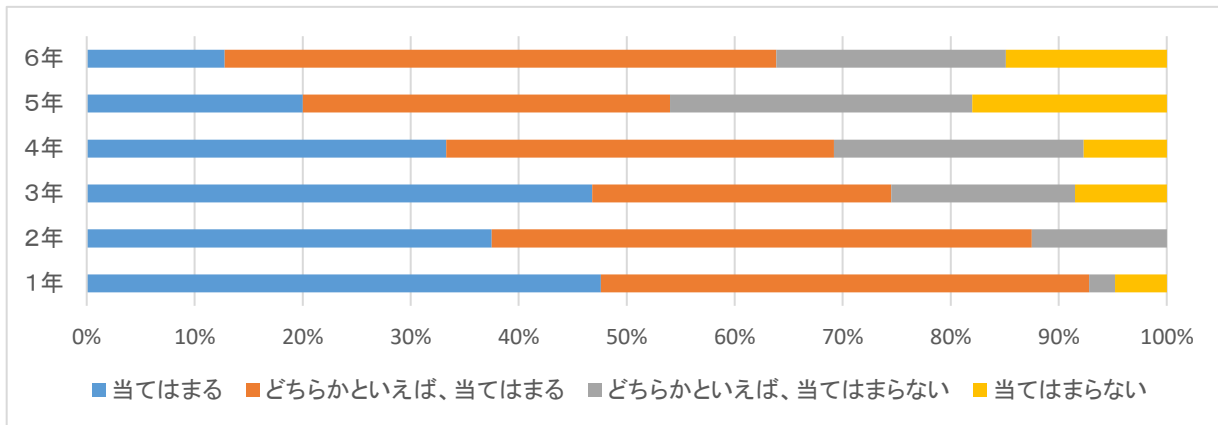


(2) 児童の英語力やコミュニケーション力について

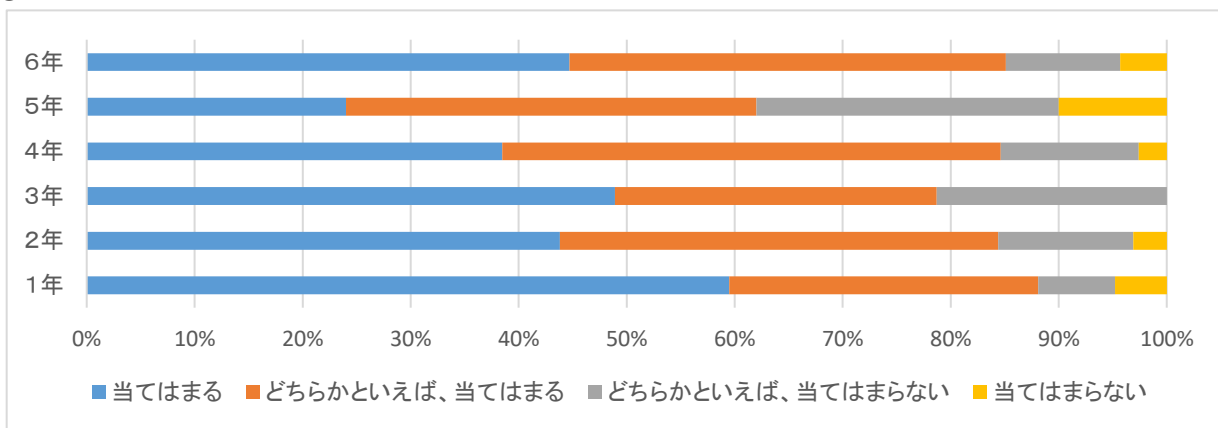
① 授業で、英語専科や担任の先生、友達が使う英語の意味がわかる



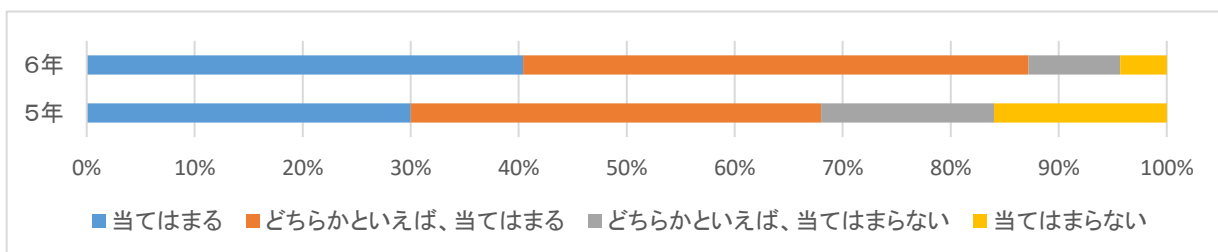
② 授業で、ALTが使う英語の意味がわかる



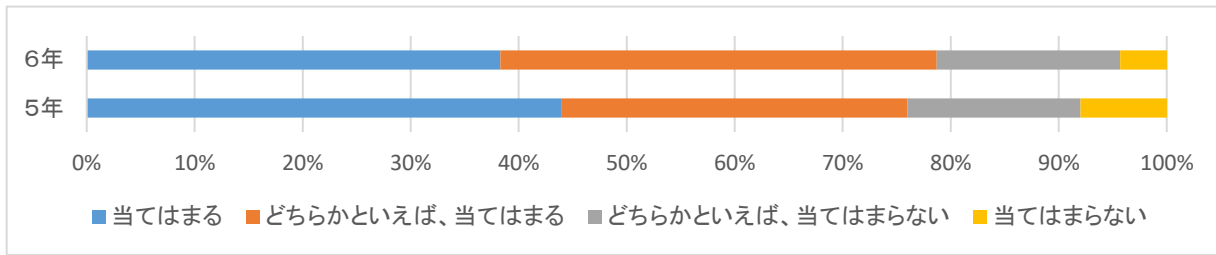
③ 友達に英語を使って自分の考えを伝えることができる



④ 5年生 英語で書かれた名前や教科書に出てくる言葉を読むことができる
6年生 教科書に書いてある英語の文を読むことができ意味がわかる



- ⑤5年生 アルファベットの大文字・小文字や簡単な単語を書くことができる
 6年生 教科書や例文を見ながら、自分が伝えたいことについて英語で文を書くことができる



3 成果

- ・楽しく取り組んでおり、外国語活動が「好き」と答える児童が多い。
- ・主体的に参加し、積極的にコミュニケーションをとろうとしている。
- ・外国語に対する関心が高く、発言もよくしている。
- ・ゲーム等の活動をたくさん取り入れてくれているので、意欲的で楽しく学んでいる。
- ・意欲的に外国語に慣れ親しんでいる。休み時間、英語でじゃんけんを行う場面があった。
- ・専科の先生のため、クラス間に差がなく同じ授業内容を実施できている。

4 課題

- ・一部の児童は、苦手意識をもっている。
- ・ペアで行う活動や発表が多いため、苦手を感じる児童もいる。
- ・授業で取り扱う文法の理解に個人差が生じてしまっている。
- ・英語の表現力に自信のない児童がいる。
- ・英語を使って自分の考えを伝えることに苦手意識もつ児童がいる。
- ・授業の進度の調整が難しい。